

一応供覧	文書分類	保存年限	13510永
議長	局長	書記	主任 担当

山田

1号様式

令和8年2月6日

津南町議会議長 風巻 光明 様

議席番号 6番

議会議員 筒井 秀樹



一般質問の通告について

令和8年2月26日開会の第1回定例会に下記のとおり、一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

記

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1 福祉的視点に基づく冬期間の生活維持対策と、持続可能な居住エリアの構築について	<p>人口減少と高齢化に伴い、従来の除雪体制は限界を迎えている。高齢世帯にとって除雪費の負担増による困窮や孤立、支え手となる若手の負担増は、もはや雪対策の枠を超えた「福祉の危機」である。町民の生命と町の存続を守るため、以下の項目を問う。</p> <p>1, 「除雪ポイント制度」の導入</p> <p>要援護世帯の除雪支援員など除雪ボランティアの除雪労力を地域福祉への貢献として評価し、町内サービス等で還元する「新しい互助」の仕組みを構築できないか。</p> <p>2, 「冬期まちなか居住」の推進</p> <p>除雪困難な高齢世帯に対し、冬期間のみ中心部の施設等へ一時入居を促す「福祉シェルター」施策により、安全確保と</p>	町長



<p>2 小学校統合に伴う校舎リニューアルと児童の生活環境整備について</p>	<p>コンパクトシティ化を進められないか。</p> <p>1. 統合を象徴する「津南小学校校舎の美装化」について</p> <p>統合を機に、児童が新しい学び舎に愛着と誇りを持てるよう、壁面の塗り替えなど視覚的な刷新をどのように行うか。</p> <p>2. 雪国の実情に即した「校内生活環境の改善」について</p> <p>冬期間の長靴収納に適した下駄箱の整備のほか、現代の生活水準に照らして立ち遅れているトイレ設備の改修について認識を問う。</p> <p>3. 統合に伴う「通学バスの運行体制」について</p> <p>遠距離通学者の増加に伴い、通学バスの増便や路線の再編が予想されるが、深刻な運転手不足の中でどのように人員と安全を確保していくのか。</p>	<p>町長</p>
<p>3 上下水道料金の早期改定と財政の健全化について</p>	<p>上下水道に係る3つの公営企業会計へ一般会計の負担が毎年多額になっており、他施策への影響が極めて大きい。</p> <p>料金改定を実行するまでに条例上「3年」かかるのが通例と聞いている。物価高騰が続くなか、料金改定の先送りは将来的な「急激な値上げ」を招き、住民負</p>	<p>町長</p>

	<p>担をかえって増大させる。インフラの安定維持と負担の平準化を図るため、3年を待たず、早期に「段階的かつ緩やかな改定」へ着手すべきと考えるが認識を問う。</p>	
--	---	--

※質問項目が変わる場合は罫線で分割してください。